

指定管理者評価表

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市鳳公園	
(2) 施設の設置目的	
防災機能を備える身近な近隣公園として、公共の福祉の増進に資するため設置	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 大浜公園事務所	
(4) 指定管理者名	
NPO法人クリーン鳳	
(5) 指定期間	
平成28年4月1日から平成31年3月31日まで（3年間）	
(6) 主な事業	
防災機能が発揮される公園、地域住民に親しまれ、安全で安心な公園、快適かつ魅力ある公園づくりのため、鳳公園において以下の業務を実施 ○維持管理業務 ・公園施設の点検、修繕等の施設管理 ・除草や樹木剪定等の植物管理 ・落書やゴミのない誰もが気持ちよく利用できるような美化活動の実施 ○管理運営業務 ・防災機能を備えた公園であるので防災訓練の実施 ・利用者への防災等に関する啓発、周知を日常的に実施 ○自主事業 ・災害時での飲料水確保及び平常時でのサービス提供のため、防災機能付自動販売機を設置運営する	
(7) 有料施設の有無	
無	
(8) 公募・非公募の別	
非公募 (非公募の場合その理由) 東日本大震災の教訓から、自助・共助・公助の連携、地域コミュニティの強化や、自主防衛組織が実施する防災訓練、緊急時の備えなど地域の防災力の強化が求められており、地域の3校区（鳳南、鳳、福泉上小学校区）の連合自治会の中心メンバー構成員となっている当該法人は、これまで防災訓練等において、地域団体と密接に連携した活動を行っており、今後も地域の防災活動拠点として更に鳳公園を活用することが期待できる。また、鳳公園におけるコミュニティ機能の面からも、当該法人は公園維持管理に関して、これまで地元住民の多様な協力が得られており、今後も引き続き期待でき、指定管理者としてふさわしい団体であるため非公募としている。	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
無	

2 管理運営状況

(1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

- ・ 鳳南校区の方々と共催で防災訓練を実施し、鳳公園が防災公園であることのPRと災害時に備えての知識の向上を図った。
- ・ 防犯カメラや見回り等の効果で日々の悪戯は減少している。

(2) 利用者サービス

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者名	NPO法人 クリーン鳳	NPO法人 クリーン鳳	NPO法人 クリーン鳳	NPO法人 クリーン鳳	NPO法人 クリーン鳳
ア 利用者数 (人)	-	-	-	-	
利用者数の算出 方法	一般公園なので利用者数は把握できていない。				
市による状況分析	一般公園なので利用者数は把握できていないが、終日多くの家族連れが公園を利用されている。				
イ 稼働率 (%)	100	100	100	100	
稼働率の算出方 法	一般公園なので稼働率は100%。				
市による状況分析	一般公園なので稼働率は100%であるため、終日多くの家族連れが公園を利用されている。				
ウ 利用者満足度 (%)	70	80	80	80	
利用者満足度の 測定方法	8月の盆踊りと12月の防災訓練にて合計129人にアンケートを実施し、鳳公園に対する満足度が、非常に満足とやや満足が全体の何割を占めているかで測定する。				
市による状況分析	苦情・要望に対する迅速な対応や日常の維持管理により、公園利用者の満足度は非常に高いといえる。				

(3) 管理体制等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	52	50	50	50	48
イ 職員研修(回) ※令和元年度は予定回数	8	8	6	6	5
ウ 要望、苦情等(件)	0	1	2	2	-
エ 事件、事故等(件)	0	0	1	1	-
市による状況分析	要望、苦情の総件数は横ばいだったが、見回りの強化や防犯カメラ設置により悪戯は減少した。				

(4)収支状況(単位:円)

■指定管理業務

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(予算)
ア 収入	指定管理料	5,657,000	5,957,000	5,957,000	5,957,000	6,600,000
	利用料金	0	0	0	0	0
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	51,860	7	0	3	0
合 計		5,708,860	5,957,007	5,957,000	5,957,003	6,600,000
イ 支出	人件費	4,434,240	4,039,360	3,931,680	4,186,720	4,564,800
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合	0 (0.0%)	599,616 (10.5%)	66,960 (1.1%)	396,980 (6.5%)	110,000 (1.7%)
	修繕費	333,348	45,412	930,284	604,320	800,000
	光熱水費	0	0	0	0	0
	その他経費	941,272	1,013,689	1,069,638	942,087	1,125,200
合 計		5,708,860	5,698,077	5,998,562	6,130,107	6,600,000
利用者一人当たりの支出額		—	—	—	—	—

ウ 収支差額	0	258,930	-41,562	-173,104	0
--------	---	---------	---------	----------	---

エ 市への納付金の額	—	—	—	—	—
------------	---	---	---	---	---

オ 徴収委託の場合 の徴収額	—	—	—	—	—
-------------------	---	---	---	---	---

市による状況分析	見回り強化や防犯カメラ設置の効果もあり、悪戯件数が減少したため修繕料は昨年と比べ抑えることができたが剪定や薬剤散布などの委託料が増加したため、昨年よりマイナス収支となっている。
----------	--

■自主事業(有)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(予算)
ア 収入	523,332	542,290	584,486	591,230	400,000
イ 支出	273,922	235,716	227,180	156,765	180,000
ウ 収支差額	249,410	306,574	357,306	434,465	220,000
エ 市への納付金の額	—	—	—	—	—
オ 事業数(回)	2	3	2	2	
カ 参加者数(人)	1,300	570	470	470	

主な自主事業	防犯機能付自動販売機設置、防災訓練、地域交流まつり
--------	---------------------------

市による状況分析	自動販売機による収入は昨年と大差ないが、会議費が発生しなかったため、支出が大幅に縮減し、昨年よりもプラス収支となった。
----------	---

3 目標管理、評価等

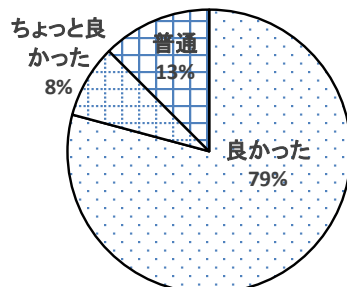
(1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	防災施設の機能の周知	(設定理由) 鳳公園は防災機能を備えており、一次避難地の機能を有する公園であるため
	目標	防災施設の組み立て等を行い、公園利用者に対し、月一回以上その機能を紹介する	(設定理由) 災害時に利用者が効果的、効率的に防災施設を活用できるようにするため
	実績	月に一度は、防災キャンペーンを実施し、市民への呼びかけを実施した。	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 地元自治会、小学校及び近接商業施設との連携し、災害に備えた訓練を行えた

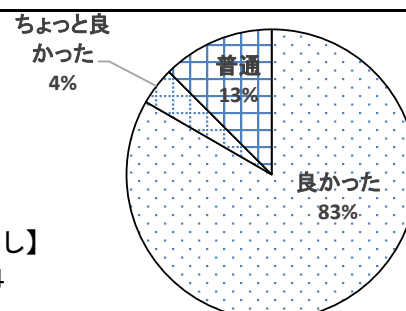
アンケート結果

(防災訓練プログラムについて)

【仮設トイレ設営】
n=24



【炊き出し】
n=24



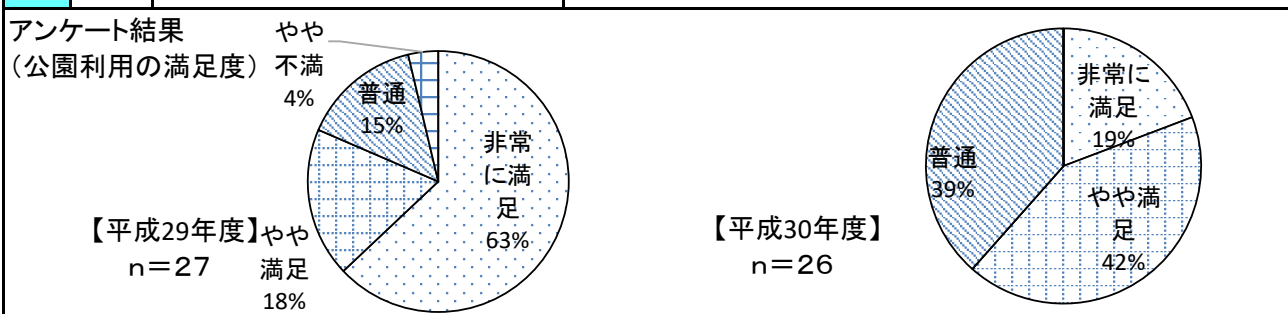
平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	自主事業として防災訓練を行うと同時に、地域住民に鳳公園が防災公園であるというアピールと当社員の防災備品の使用、利用方法の知識の向上を図れた。
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	「実際の災害の時、このような対策ができるのかなと思った。」との意見があった。災害時でも活用できるように引き続き、地元住民とともに防災訓練を行い、防災知識の共有を図る。

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	B	B
	具体的な理由	・防災機能を備えた公園であるので、鳳南校区の自治会の方々と共催で防災訓練を実施し、鳳公園が防災公園であることのPRと本番に備えての知識の向上を図った。	・月に一度、防災キャンペーンを実施するなどして地域住民に防災施設の機能周知しているため。	
対応策等	・地域住民に鳳公園が防災公園であるということでアピールと、当社員の防災備品の使用、利用方法の知識の向上を図れた。	・引き続き地元自治会、小学校及び近接商業施設との連携を継続し、地域防災拠点として施設運営を行うとともに、適正な管理運営を継続していく。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	苦情・要望等に対する対応	(設定理由) 「美しく安全な公園」を実現するには不可欠な要素であるため
	目標	苦情・要望に対し迅速な対応及び十分な説明を100%	(設定理由) 公園利用者が安心・安全に利用できるようにするため
	実績	1年間で2件の苦情・要望があったがどちらも迅速な対応し、申出者が納得できる説明を行った。	(分析) 管理体制を改めることにより効率よく維持管理業務ができたと同時に公園内の悪戯件数が減少したため利用者から高い満足度を得ることができた。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	見回りの強化、防犯カメラの設置
--	-----------------

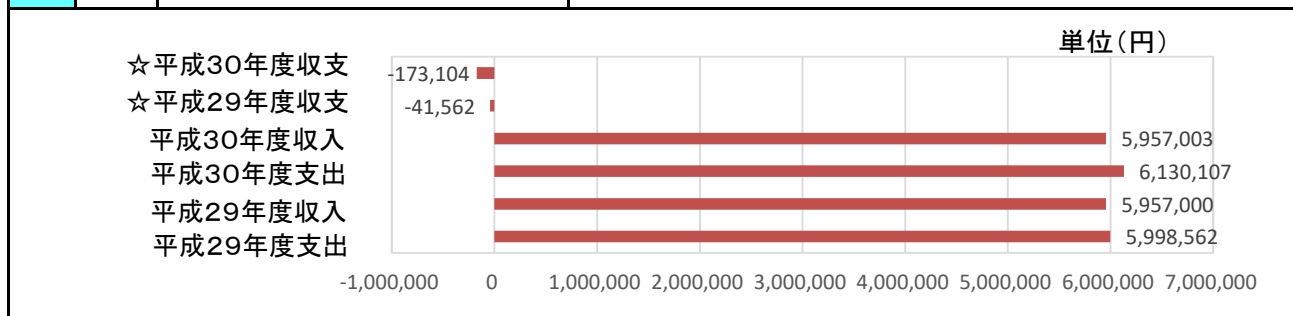
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	公園の自転車置き場に子供の施自転車の足置き部分が車止め柵にぶつかり、自転車を入れないのでどうにかしてほしいとの要望があり、早期に対応した。
-----------------------	---

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	<ul style="list-style-type: none"> 「美しく安全な公園」を目指して、管理運営を行ってきた。特に除草において、雑草の根から処理してきた効果があらわれ、雑草の生長が抑えられ除草に費やす時間が削減でき、施設修理など効率よく維持管理業務ができた。 日常は、社員がローテーションを組んで樹木維持管理、トイレ等の公園施設の点検維持管理を実施した。また、地元小学校、自治会並びに商業施設の関係者もボランティアとして定期清掃等に参加していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営において事業計画に基づき利用者が安心・安全・快適に利用できるように運営されていた。 日常は社員が見回り、遊具の点検をし、地元小学校や自治会の方々のボランティアによる清掃活動により美しい公園を目指した維持管理がなされている。 		
対応策等	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き維持管理、施設運営活動を継続して取り組んでいく。 		<ul style="list-style-type: none"> 地元自治会、小学校及び近接商業施設との連携を継続し、「美しく安全な公園」を目標として施設運営を行うとともに、適正な管理運営を継続していく。 		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	収支の均等	(設定理由) 指定管理料の適正な執行のため
	目標	収益事業が限られた業務のなか、収支のバランスを保つ	(設定理由) 管理経費の縮減は必要であるが、サービスの低下を招かないように収支バランスを考慮する必要があるため
	実績	薬剤散布や剪定による委託料の増加がありマイナス収支となったが、人員配置の見直しにより人件費を抑えることができた。	(分析) 昨年より人件費は増加してしまったが予算内に収まっており、また委託料は予算を超えてしまったが、日々の施設維持管理の徹底により最低限に抑えることができた。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	「防災機能付き自動販売機」を3台設置している。
------------------------------------	-------------------------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし。
-----------------------	-------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	B	B
	具体的な理由	・施設の老朽化による修繕料の増加があったが、日ごろの見回りの強化や防犯カメラ設置などの維持管理体制の見直しにより悪戯による修繕料は昨年比で縮減することができた。	・委託料が高額であったが、人件費や修繕料は適正な維持管理体制であったため、ほぼ予算内に抑えることができ赤字額を少額に抑えることができた。	
対応策等	・引き続き人員体制などの維持管理体制を見直し、最低限に支出を抑える。	・今後も適正な維持管理体制のもと、必要となる修繕を進めながら市民の要望に応え、利用満足度の高い公園を目指す。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの